

# キンタマーニ高原

[インドネシア - バリ島]

直行便で約 2 時間 45 分



1) 活火山であるバトゥール山 (1717m) とバトゥール湖を中心とした巨大なカルデラを形成する標高 1500m の高原地帯をキンタマーニ高原と総称する。カルデラ内には 7 つの村がありバリ島の中で最も古い伝統を保つことで知られる。キンタマーニ高原の雄大さは地元の人々の誇り。 2) バリ最高峰のアグン山 (3031m) の頂上。 3) バリヒンズー教の総本山ブサキ寺院はアグン山の中腹に位置する。 4) アグン山頂から臨む夜明けのパノラマ 5) レゴンダンス。華麗な演舞はほぼ毎夜ウブドのどこかの村で開催される。



6) 中部ジャワ発祥の民族音楽ガムランは 2 つの異なる旋律を組み合わせる。 7) 二人の少女がガムラン音楽に合わせて細かな手の動き、複雑な足運び、そして顔の表情を交え、トランス状態になって踊るのがレゴンダンス。この踊りは瞑想的儀式のサンヒャン・デダリから発展したという説がある。 8) テガラランの棚田 9) 善の象徴パロンと悪の象徴である魔女ランタが繰り広げる戦いの物語。善と悪の魂が人間を巻き込み様々な姿に変身してゆきます。

バリの奥座敷  
キンタマーニ高原  
朝日トレッキング

バリ最高峰のアグン山 (3031m) はインドネシアでは 5 番目の高峰で、バリの人々にとっては火の神が棲む神聖な山として古来より崇められてる。

山腹にはバリヒンズー教の総本山ブサキ寺院があり、この寺院から噴火口のある山頂まで登山することが出来る。  
朝日が昇る頃に山頂に到達するため、午前 2 時頃から登山開始。山頂からは隣のロンボク島最高峰のリンジャニ山 (3726m) やバリ島全域を見下ろす絶景が楽しめる。

少しソフトなトレッキングを楽しみたい場合はキンタマーニ高原のバトゥール山 (1717m) のトレッキングがお勧め。午前 4 時頃から歩きはじめ山小屋から朝日を見学。ここからも神秘的なリンジャニ山やアグン山が眺められ、眼下には溶岩流の跡やカルデラの村々、バトゥール湖のパノラマ等、ダイナミックな景色が楽しめる。帰路、湖畔のトヤブンカ村の天然温泉プールに立ち寄り疲れ体を癒せます。  
さらにウブドでゆっくり時間を取り、スバやアジア雑誌のショッピング、伝統芸能鑑賞を楽しめばバリの懐深い魅力を堪能できるだろう。